

令和6年度 事務事業評価シート（１）

[令和5年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	広報活動事業	事業番号	001-002
担当部署名	市長公室	局	広報戦略
		部	広報
			課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画 2025	施策 との 関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(2) 市政への信頼獲得、ブランド力の向上に向けた戦略的広報の展開	
			有	取組の方向性	②広報さかいを堺の変化や魅力を市民により伝えられる媒体にリニューアル			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—	
			無	取組	—			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	堺市広報戦略				
3	事業開始年度	昭和 24 年度	点検対象年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	本市が発信する情報を伝えたい方、知りたい方			対象数	単位
					(市内配布数) 約41万	戸
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	・市民生活に関する情報を的確かつタイムリーに伝え、市民サービスの向上、市民の安全・安心に資する。 ・市政に関する情報を的確かつタイムリーに市民に発信することで、市政の見える化を推進し、市民の市政への信頼・関心を高め、市政への参画、更には協働を促進する。 ・市の施策や魅力を市内外に発信し、都市イメージの向上、堺への愛着の醸成を図り、集客交流の促進、人口誘導に寄与する。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	【広報さかい】 月1回（毎月1日）発行。タブロイド版24ページ（うち区広報紙3ページ）として作成。 なお、視覚障害のある方向けに、点字版やデジジー版の発行（毎月5日）も実施している。				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	委託契約受注者				
10	公民連携・協働事業	【くらしのガイドブックの発行】2年に1回発行（民間事業者との共同発行）				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
11 広報さかいを読んでいるか	%	目標値	100	100	100	100
		実績値	93	95		
		達成率	93%	95%		
当該指標を選定した理由		市民に身近に感じてもらう頼りにしてもらえる広報紙をめざすため				
目標値の設定根拠・算出方法		市政モニターアンケート結果より				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	
12 広報さかいの読みやすさ	%	目標値	100	100	100	
		実績値	84	87		
		達成率	84%	87%		
当該指標を選定した理由		「広報さかい」は読みやすく分かりやすく読み手に伝わる広報紙をめざすため				
目標値の設定根拠・算出方法		市政モニターアンケート結果より				

令和6年度 事務事業評価シート（２）

事務事業名	広報活動事業	事業番号	001-002
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
	事業費（a）	154,976	146,217	211,028	207,097	258,094
13	財源内訳					
	国支出金	962	650		859	0
	府支出金					0
	市債					0
	その他（広報さかい広告収入）	16,880	16,217	16,086	20,134	15,400
	受益者負担金(使用料、手数料等)		50	49	68	50
	一般財源	137,134	129,300	194,893	186,036	242,644
14	人件費（b）	67,930	71,620	71,490	71,490	71,340
15	年間経費(c)=(a)+(b)	222,906	217,837	282,518	278,587	329,434

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち一般財源	項 目	年度		事業費	うち一般財源
		R5	決算				R5	決算		
16	広報さかい発行・配布関係	R6	予算	248,488	233,088	消耗品費	R6	予算	1,161	1,161
		R5	決算	3,725	3,657		R5	決算	344	344
	使用料及び賃借料	R6	予算	4,592	4,542	通信運搬費	R6	予算	428	428
		R5	決算	763	763		R5	決算	237	237
	筆耕翻訳料	R6	予算	990	990	その他備品購入費	R6	予算	240	240
		R5	決算	300	300		R5	決算	285	285
	映像制作・発信委託料	R6	予算	0	0	物品修繕料	R6	予算	165	165
		R5	決算	0	0		R5	決算	1,207	1,207
	くらのガイドブック点字版・デジ版作成委託料	R6	予算	1,387	1,387	その他（旅費等）	R6	予算	643	643
		R5	決算				R5	決算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和4年度	令和5年度
17	① 広報さかい発行	部数	4,974,065	4,982,973
	② 上記①にかかる年間経費	千円	210,385	270,231
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	42	54
	備考（算出についての説明等）			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	物価高騰等によって、広報紙の紙価格や宅配単価が上昇しており、広報紙発行にかかる単位当たりの経費は令和4年度から上がっている。一方で、広報さかいたの読みやすさや広報さかいたを読んでいるかといった指標は、市政モニターアンケートによると、令和4年度は84.3%、令和5年度は86.7%と高い割合で推移しており、事業の有効性は高い。今後も引き続き、単位当たり経費の水準を維持しながら魅力的な紙面制作に努め、より多くの市民に読まれる広報紙を発行する。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	広報さかいたでは、令和5年度当初予算の重点施策である「子育て世代の定住・流入促進」を重点テーマとして捉え、特集面を制作した。住まいのサポートの特集（R5.5月号）、低所得の子育て世帯への5万円給付のお知らせ（R5.6月号）、出産・子育て応援事業などの特集（R5.7月号）、子育てひろばの特集（R6.2月号）などを掲載した。また、幅広い世代に読まれ、市民に頼りにされる広報紙をめざし、「セーフティネットの情報」や「市の魅力情報」を定期的に発信した。障害を持つ方とのコミュニケーション手段の紹介（R5.9月号）、医療的ケア児への支援の紹介（R5.11月号）、防災（R5.6・9月号）、堺市博物館や鉄炮鍛冶屋敷の特集（R5.7月・R6.3月号）、サイクルシティ（R5.5月号・R6.2月号）、sakai kitchen〈堺キッチン〉の紹介（R5.12月号）などを掲載した。なお、市政モニターアンケートの結果では、95%の方が広報さかいたを読んでおり、読みやすさは「ちょうどよい」「やや易しい」が86%となっており、大多数の方に読みやすい内容になっていると考える。今後も市の取組や魅力について、読みやすく分かりやすくお届けし、読み手に伝わる広報紙をめざす。
----	--